

職員による自己評価

A 環境・体制整備

- ・運動する場所や座って活動する場所のマットを色分けする事で児童が視覚的に認識しやすくなっている
- ・整理整頓が成される環境を作る事で児童の安全確保が以前よりもされてきている

B 業務改善

- ・自己評価の結果をHPで公表
- ・事業所単独で月1回の内部研修を実施、コンプライアンスや障害知識向上の図っている

C 適切な支援の提供

- ・対応方法統一のために定期的なケース会議を実施
- ・ABAをベースとして支援を実施

D 関係機関や保護者との連携

- ・感染状況により、子ども部会などへの参加をして関係機関との関係性の構築に努めている
- ・保護者様からの悩み相談に対してペアレントトレーニングの実施を行い、共通対応を図る

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のために、保護者会など大勢が集まる機会を減らしているため、個別面談等の実施
- ・日々の支援内容記載した指導記録の配布を毎月行う事で事業所での取り組みの共通認識を図る

E 非常対応

- ・様々な災害（地震・火災・津波・不審者）などを想定した防災訓練を年2回の決められた訓練以外にも毎月実施。

保護者による評価

A 環境面

- ① はい 21 どちらともいえない 4 いいえ 0 無 0
- ② はい 20 どちらともいえない 5 いいえ 0 無 0
- ③ はい 20 どちらともいえない 4 いいえ 1 無 0

B 児童への支援内容

- ④ はい 23 どちらともいえない 1 いいえ 0 無 1
- ⑤ はい 21 どちらともいえない 3 いいえ 0 無 1
- ⑥ はい 4 どちらともいえない 16 いいえ 4 無 1

C 事業所からの情報発信

- ⑦ はい 24 どちらともいえない 0 いいえ 0 無 1
- ⑧ はい 24 どちらともいえない 0 いいえ 0 無 1
- ⑨ はい 23 どちらともいえない 1 いいえ 0 無 1
- ⑩ はい 9 どちらともいえない 14 いいえ 2 無 0

- ⑪ はい 23 どちらともいえない 1 いいえ 1 無 0
- ⑫ はい 22 どちらともいえない 2 いいえ 1 無 0
- ⑬ はい 24 どちらともいえない 1 いいえ 0 無 1
- ⑭ はい 23 どちらともいえない 2 いいえ 0 無 0

D 非常対応

- ⑮ はい 19 どちらともいえない 4 いいえ 2 無 0
- ⑯ はい 23 どちらともいえない 1 いいえ 0 無 1
- ⑰ はい 24 どちらともいえない 1 いいえ 0 無 0
- ⑱ はい 25 どちらともいえない 0 いいえ 0 無 0

事業所内での分析

【共通点】

- ・児童の行動変化が見られるようになってきた事で、通う目的がお預かりから支援に変わってきて休みが減ってきた。
- ・ブログに見てもらえる機会が増えて、内容に対しての質問などが増えてきた。
- ・児童の成功体験に繋がる介入により、児童の通いたい意欲にも繋がっている。

【相違点】

- ・お預かりの場から支援の場への認識が変わってきているが、職員のスキルにも差が生じている状況であり、チーム支援の統一が図れていない。
- ・ハートリンク全体でブログの内容に差が生じており、同様の支援を行っているのに疑問に思われている。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

ABA の考え方をベースとした支援を取り入れている。

実践心理学の知識を用いた介入方法の導入実施。

毎日の指導記録を行う事で、児童の様子の振り返りに活用すると共に、保護者様が自宅以外の場所での様子の把握が出来るツールとして定着している。

児童への支援だけでなく、親支援の必要性を鑑みて、ペアレントトレーニングの実施を行っている。

事業所の改善点

新型コロナウイルスの感染状況により、外部研修の機会創出が難しい状況であり、内部研修の充実を図る必要性がある。

事業所の改善への取り組み

- ・ 学年が上がるにつれて、児童・保護者様の求めるニーズも高まっていくため、日々の情報収集を図り、支援内容やタイムスケジュール等の見直しを行っている。
- ・ 事業所としての軸となる考え方を浸透させ、共通のビジョンで支援をしていく。
- ・ 児童の成長につながる支援提供のために、職員の知識・技術向上の機会創出を図っていく。
- ・ 児童の安全確保のためにヒヤリハットの重要性など基本となる取り組みの見直しを実施。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

日々のご意見も含めて児童・保護者様の満足度は上がってきていると感じられますが、年齢に合わせた支援提供のためにも事業所として、よりスキルアップをしていく事が求められているとも感じ、理念やビジョンを持って支援提供をしていく必要性を感じました。今回の貴重なご意見も踏まえて、ハートリンク本郷台がご利用者様からより信頼され必要とされる事業所となるように、今後の事業所の在り方等をスタッフと共に考えていきます。

事業所名：ハートリンク放課後等デイサービス本郷台

管理者兼児童発達支援管理責任者： 小原 順一